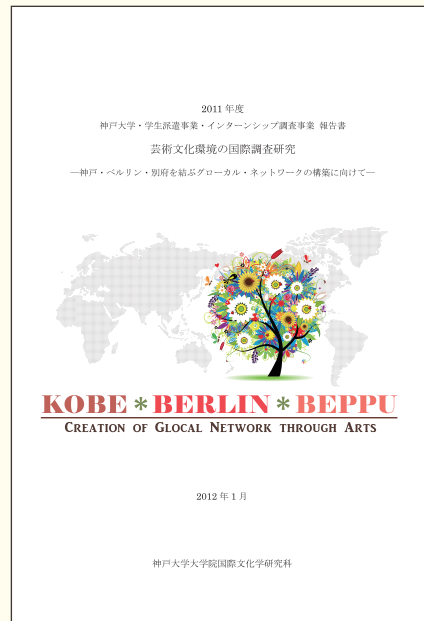


## 関連資料について

本シンポジウムに関連する資料として、神戸大学大学院国際文化学研究科では2012年1月に『2011年度 神戸大学・学生派遣事業・インターンシップ調査事業 報告書 芸術文化環境の国際調査研究 ー神戸・ベルリン・別府を結ぶグローバル・ネットワークの構築に向けてー』を発行しました。これは、2011年8月から9月にかけて本学学生・大学院生が行ったドイツの芸術文化環境調査の報告と、2010年および2011年に神戸大アートマネジメント研究会が別府で開催した座談会「混浴”学生”世界」の議事録をまとめたものです。

本報告書は、下記ウェブサイトにて閲覧することができます。

神戸大学大学院国際文化学研究科 異文化研究交流センター  
<http://web.cla.kobe-u.ac.jp/group/IReC/>



## 会場案内



# KIITO

〒651-0083  
 神戸市中央区浜辺通 5-1-14  
 神戸商工貿易センタービル 26階 2620号室  
 URL <http://www.kobe-designhub.net/kiito/>

※KIITOではシンポジウムへの参加申込は受け付けておりませんので、神戸大学大学院国際文化学研究科 異文化研究交流センターへお申し込み下さい(下記参照)。

各線三宮駅から南へ徒歩15分、ポートライナー貿易センター駅徒歩すぐ。  
 EVにて25階までお上がり頂き、サインに沿って階段で26階までお越し下さい。  
 ※お体の不自由な方は26階までEVでお上がり頂けますので、お問合せ下さい。

## お申し込み・お問合せ先

20日のシンポジウムおよび19日のフォーラムにご参加希望の方は、①参加希望日時(20日のシンポジウムの場合は懇親会への参加の有無も)、②申し込み人数と全員の氏名、③代表者の連絡先(電話もしくはEメール)、を明記の上、下記までFAXもしくはEメールでお申し込み下さい。なお、20日の懇親会のみ、参加費を1,000円とさせていただきますので、会場の受付でお支払いください(食費+お飲み物1杯分。2杯目以降は実費にてご購入頂けます)。

神戸大学大学院国際文化学研究科 異文化研究交流センター(担当:寺田)  
 FAX: 078-803-7650 E-Mail: [kobe.symp@gmail.com](mailto:kobe.symp@gmail.com) ※左記Eメールアドレスは本シンポジウム専用です。

主催

神戸大学大学院国際文化学研究科異文化研究交流センター／神戸市企画調整局デザイン都市推進室

## 国際シンポジウム

# アートと都市をつなぐデザインカ

ー グローカル・ネットワークによる成長神話の超克 ー

2012年3月20日(火・祝)

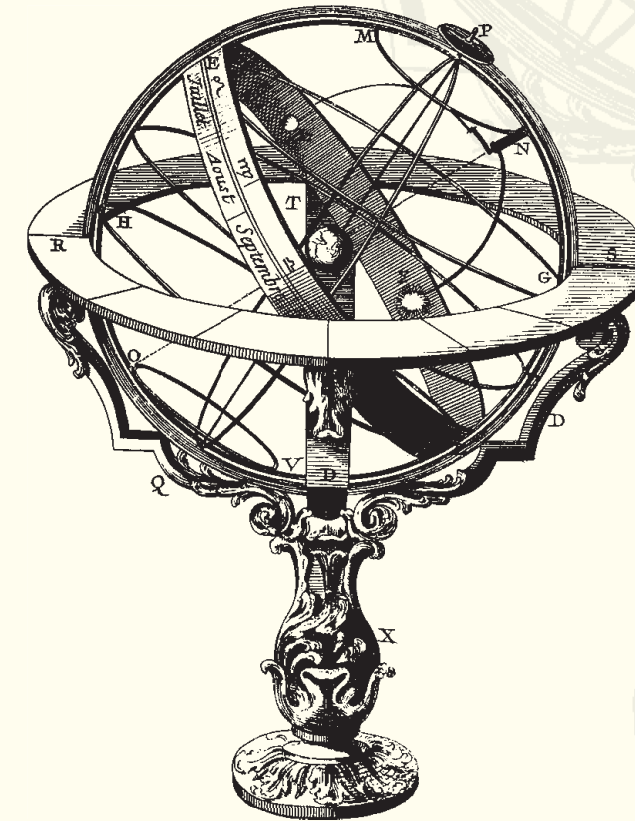
13:00~21:00

会場 **KIITO**

入場無料・要申込(先着80名)

(申込方法は裏面参照)

※懇親会のみ参加費が必要です。  
 ※内容は全て日本語で行われます。



2008年、神戸は名古屋とともにユネスコ・創造都市ネットワークのデザイン都市に認定されました。同じくデザイン都市を擁するドイツ(ベルリン:2005年認定)およびオーストリア(グラーツ:2011年認定)からの講師2名に、アートシーンの最前線で活躍するコメンテーター5名を加え、アートと都市をつなぐ、これからの「デザインカ」を考えます。

## 関連企画

アートマネジメント若手・学生フォーラム in 神戸 2012

「子どもとアート、どうつなぐ?一日独芸術教育の事例から考える」

3月19日(月) 14:00~18:00 於 KIITO

入場無料・要申込(先着80名) ※申し込み要領は20日のシンポジウムと同様です(裏面参照)。

20日のシンポジウムのゲストスピーカーである秋元雄史、芹沢高志両氏によるレクチャーの他、同じくゲストスピーカーのズサンネ・クリーン、アンネグレート・ヘルクマン、大谷煥、マナビ・ムラタ、針山愛美各氏(プロフィールは内側に記載)と、高見俊雄(神戸市市民参画推進局文化交流課)氏を交えてのラウンドテーブルや、学生による研究発表を行います。

企画:神戸大アートマネジメント研究会



United Nations  
 Educational, Scientific and  
 Cultural Organization

City of Design  
**KOBE**

Member of the UNESCO  
 Creative Cities Network  
 since 2008

シンポジウム開催にあたって 藤野 一夫(神戸大学大学院国際文化学研究所 教授)

遠方からゲストスピーカーを招いて、なぜ国際シンポジウムを開くのだろうか。政治的セレモニー？ 国際交流？ 自分とは異なったもの、という意味での「他者」、つまりいろんなひとたちが出会い、交わり、外から内を、内から外を見つめなおしてみると、ふだんは見すごしているさまざまな「違い」にあらためて気づく。それだけではない。その違いをつきぬけて、共通の問題につきあたることがある。

そのような違いを認めあったうえで、国境をこえて、共通の問題に異なるものたちが開かれていく場。「饗宴」を意味するシンポジウムとは、にぎやかなプラットフォーム、フラットな出会いと交わりの広場だ。だから頭ごなしの計画性や効率性とはなじみがない。わたしたちが住み、働き、また訪れるまちが、フラットに開かれた広場にあふれていたらどんなにか素敵だろう。

イマジネーションの自由な飛翔はアーティストと若者の特権である。その想像力のはばたきを都市やコミュニティの空間デザインに生かすにはどうしたらいいだろうか。少し年季の入ったおっちゃんたちの知恵もスパイスになるかもしれない。他者たち、異なるものたちが自然体でふるまい、フラットに交わる共有地(コモンズ)、それが都市の本当の姿だろう。

先進諸国の市民たちは、どこでも拡大成長の神話が終わったことを自覚してきている。「創造的な縮小」の時代を想像力豊かにスマートに生き抜くための構想力―「アートと都市をつなぐデザイン力」がもとめられている。

## 国際シンポジウム

# アートと都市をつなぐデザイン力

ー グローカル・ネットワークによる成長神話の超克 ー

2012年  
3月20日  
(火・祝)

13:00~13:10 開会の挨拶と趣旨説明 藤野 一夫(神戸大学大学院国際文化学研究所 教授)

13:15~14:00 基調講演1

スザンネ・クリーン(ドイツ日本研究所 専任研究員)

「地域社会をデザインするー日本のアートプロジェクトの特徴」

14:00~14:45 基調講演2

アンネグレート・ベルクマン(ベルリン自由大学 講師)

「デザイン都市ベルリンのデザイン力と芸術」

14:45~15:00 休憩

15:00~16:30 コメント1 芹沢 高志(P3 art and environment 統括ディレクター)

15:00~16:30 コメント2 大谷 煥(NPO法人DANCE BOX エグゼクティブ・ディレクター)

15:00~16:30 コメント3 秋元 雄史(金沢21世紀美術館 館長)

15:00~16:30 コメント4 マナビ・ムラタ(Galerie Murata & Friends)

15:00~16:30 コメント5 針山 愛美(ベルリン国立バレエ団)

16:30~16:45 休憩

16:45~18:00 ゲストスピーカー全員による総括ディスカッション

モデレーター 藤野 一夫

18:15~21:00 フリートークおよび懇親会 ※懇親会のみ有料ですのでご注意ください

モデレーター 衣笠 収(神戸市企画調整局デザイン都市推進室 企画推進担当主幹)

## ゲストスピーカー プロフィール

### ■スザンネ・クリーン Susanne Klien / ドイツ日本研究所 専任研究員

キュレーター。オーストリア・ウィーン出身。ウィーン大学政治学専攻博士課程修了。研究テーマはまちづくり、現代日本の地域における伝統の伝承と表象、アイデンティティー論。2006年、ヨーロッパと日本の若手アーティストに自作を展示させる現代アートの交流プログラム「Sumazo」をウィーンに設立。

ウェブサイト <http://www.romanbejnar.com/2011/sumazo-exhibition-vienna/>

### ■アンネグレート・ベルクマン Annegret Bergmann / ベルリン自由大学 講師

ドイツ生まれ。ボン大学日本文化研究修士課程修了後、早稲田大学大学院で日本演劇と日本における興行会社制度を研究。NHK勤務など19年間にわたる日本滞在を経て、現在はベルリンに在住、多くの展覧会企画に関わる。現在の研究テーマは日本の文化政策。

### ■芹沢 高志 せりざわ・たかし / P3 art and environment 統括ディレクター

東京生まれ。1989年、P3 art and environmentを設立。以後、現代美術、環境計画を中心に、数多くのプロジェクトを展開する。アサヒ・アート・フェスティバル事務局長(2002-)。とち国際現代アート展「デメーテル」総合ディレクター(2002)。横浜トリエンナーレ2005キュレーター。別府現代芸術フェスティバル2009「混浴温泉世界」総合ディレクター。神戸大学国際文化学部非常勤講師。著書に『この惑星を遊動する』、『月面からの眺め』など。

### ■大谷 煥 おおたに・いく / NPO法人DANCE BOX エグゼクティブ・ディレクター

1952年大阪生、神戸市在住。96年にDANCE BOXを立ち上げ、多数のコンテンポラリーダンスの公演、ワークショップを開催。2002年NPO法人化し、大阪市との公設置民営劇場「Art Theater dB」開設、07年閉館。09年4月、神戸市との協働で「Art Theater dB神戸」開設。Asia Contemporary Dance Festivalなど国際交流事業やアートによるまちづくり事業も多数行う。神戸大学、近畿大学非常勤講師。共著に『生きるための試行~able art on stage~』(フィルムアート社)。

### ■秋元 雄史 あきもと・ゆうじ / 金沢21世紀美術館 館長

1955年東京都生まれ。東京芸術大学美術学部絵画科卒業。1992年~2004年までベネッセアートサイト直島、チーフキュレーター。2004年~2006年12月まで地中美術館館長/(財)直島福武美術館財団常務理事、ベネッセアートサイト直島・アーティストティックディレクター。2007年4月~金沢21世紀美術館館長。金沢21世紀美術館では、「金沢アートプラットフォーム2008」で金沢の街を舞台にプロジェクト型展覧会を開催。2010年に「第1回金沢・世界工芸トリエンナーレ」ディレクターとして、新しい時代の工芸を世界に向けて発信。

### ■マナビ・ムラタ Manabi Murata / Galerie Murata & Friends

工学士(建築)。ベルリン生まれ。ベルリン工科大学建築学専攻、早稲田大学留学。1999年以降、ベルリンにてGalerie Murata & Friendsを運営(現代美術)。2011年、NPO「プラットフォーム・プロジェクト」を創設。

### ■針山 愛美 はりやま・えみ / ベルリン国立バレエ団

大阪生まれ。モスクワ・ポリショイバレエ学校卒業。ロシア・レニングラード国立バレエ団、クリーブランド・サンホセ・バレエ、ボストン・バレエ、バレエ・サンホセ・シリコンバレエ等を経て、現在ベルリン国立バレエ団所属。パリ国際コンクール銀メダル、ニューヨーク国際コンクール銅メダル、モスクワ国際コンクール特別賞などを受賞。日本やドイツ、デンマークなどで公演のプロデュース、国際コンクールの審査員、アメリカ、日本にてワークショップの講師なども務めている。